

静岡北特支が大臣賞

日本水大賞 麻機遊水地の保全評価

県はこのほど、県立静岡北特別支援学校(静岡市葵区)が日本水大賞委員会と国土交通省主催の第19回日本水大賞で文部科学大臣賞を受賞したと発表した。麻機遊水地の保全活動プロジェクト「麻活」(あさかつ)」が評価を受けた。表彰式と受賞活動発表会は7月11日に都内で開かれ、全国から136件の応募があった。



麻機遊水地の保全活動に取り組む参加者=2016年9月、静岡市葵区(県立静岡北特別支援学校提供)

全校児童と生徒355人が参加する。県静岡土木事務所と連携した遊水地のパトロールや希少種、在来種の種を探して再生させる取り組みを行う。遊水地内でレンコンやサツマイモを栽培し、裏子にして販売もする。遊水地の自然再生や環境保全に結びついていること

などが受賞理由になつた。

当初から活動に携わる大畠智里高等部教諭は「取り組みを認めていただき心からうれしく思う。児童、生徒が地域の方々と活動することは貴重な学び」と喜びを語った。県内からは第18回でNPO法人グラウンドワーク三島(三島市)が環境大臣賞を受賞している。